

ゆめ通信

Vol. 21
2011.11.30



表紙企画

このプロジェクトリーダーに聞いた!

『あなたの“ゆめ”はなんですか?』

10月16日(日) 開催のこども広場

マイホーム[🌟]建てて、
幸せいっぱい家族をつくる[😊]
そして、地域に
子どもと親の集まる場所を
つくりたいな!?[🐱]
(リーダーS)

2 **地域初** 大学と地域との協働イベントが大成功!

地域づくりコーディネーター第1期認定者 活動レポート

4 **松本大学祭で「ゆめひろば」開催**

6 **笑顔になってもらうために**

7 **子供たちの自然を通じた学びの場
子供たちの創造力を育む**

8 **Information**



学校法人松商学園
松本大学

“ゆめ”の由来…結芽「ニーズの芽を結ぶ場所」+夢+遊眼「遊び心の視点を持つ眼」
地域づくり考房「ゆめ」は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に生かしていく
ことを目指しています。



秋晴れの空の下、コスモスの花でご夫婦のダイヤモンド婚を祝いました。

みんなで笑った！みんなで泣いた！ 地域初！大学と地域との協働イベントが大成功！

地域初！交流祭りに150人が参加

9月23日（祝・金）、大町市西原にある宅幼老所『びすたりライフ』で、初めての地域交流祭り、「よっとわれました。この『びすたりライフ』は、地域づくりコーディネーター第1期認定者、三戸呂三都子さんが代表を務める施設で、平成18年より地域住民のよりどころとして利用されてきました。この度、「さらなる認知度のアップと地域交流」を目指して、松本大学の学生と地域住民が協働でこのお祭りを開催。地域の老人会（南山会）や児童会、中学校や高校など、松本大学を含めて計7つの団体が集まり、約150人が参加。学生らが企画・運営を行った結婚式やコスプレコンテストをはじめ、ヨーヨー釣り、手作りの知恵の輪やガラスアートなど、たくさんの催しで、大変な盛り上がりを見せました。

9月23日（祝・金）、大町市西原にある宅幼老所『びすたりライフ』で、初めての地域交流祭り、「よっとわれました。この『びすたりライフ』は、地域づくりコーディネーター第1期認定者、三戸呂三都子さんが代表を務める施設で、平成18年より地域住民のよりどころとして利用されてきました。この度、「さらなる認知度のアップと地域交流」を目指して、松本大学の学生と地域住民が協働でこのお祭りを開催。地域の老人会（南山会）や児童会、中学校や高校など、松本大学を含めて計7つの団体が集まり、約150人が参加。学生らが企画・運営を行った結婚式やコスプレコンテストをはじめ、ヨーヨー釣り、手作りの知恵の輪やガラスアートなど、たくさんの催しで、大変な盛り上がりを見せました。

学生と社会人の交流会 社会に出るその前に

9月23日に就活中の学生を対象に、「ステップアップしませんか～社会に出るその前に～」を開催しました。

この活動は、学生が社会人になっていくための支援事業として、松商短期大学の学生6人と塩尻市市民活動支援課との協働企画で、塩尻市市民交流センターえんぱーくを活用し行われました。また、市民の方にも関わっていただき、より中身の充実した事業を展開しました。

一步踏み出す きっかけづくりに



地域づくりコーディネーター
第1期認定者
塩尻市市民活動支援課
課長 清水 進さん

今、若い人たちの社会人基礎力（踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力など）が課題となり、それを行政と大学あるいは市民と一緒に考える機会を設けることが企画の目的でした。

企画段階では、学生が持っている能力・個性を引き出すことに、コーディネーターとして力を注ぎました。その為に、企画の中でワークショップ形式を取り入れ、役割分担を6人の学生で決めました。また、チラシは学生の皆さんが個性的に工夫しました。当日心掛けたことは、アイスブレイクなどを行い、話しやすい雰囲気作りです。学生に不安や悩みを話し合ってもらい、社会人の方からアドバイスをいただきました。市民の方からは、「今回の事業がこれから非常に重要になるだろう」という評価をいただきました。また、今回の事業を行い、学生は最後まで成し遂げる力を身に付けることができたと思います。

学生と市民をつなぐ協働事業では、地理的、時間的制約があり、プロセスデザインとコミュニケーションの大切さを改めて学びました。



地域の老人会（南山会）によるヨーヨー釣りも大人気。



コスプレ大会には23人が参加。会場を盛り上げました。



イベントが無事終了し、みんな一緒に笑顔で記念撮影。

「まるで夢のよう！」笑顔・涙・そして感動の結婚式

この日行われたイベントの中でもっとも盛り上がりを見せたのは、結婚60年を迎えた施設利用者や地域最高齢者夫婦を祝った結婚式。松本大学のゼミナールでウェディングを学ぶ学生たちが、「大学での学びを地域交流の現場で生かしたい」と、地元のボランティア団体の皆さんから様々なアドバイスなどを受けて企画したもの。ウェディングドレス姿で登場した花嫁には特に大きな拍手が送られ、ご家族からの感動的な手紙が披露されたり、ご夫婦に関する〇×クイズで盛り上がりました。参加者は時に涙を浮かべながら、温かな拍手と「おめでとう！」という祝福の声で包まれました。「こうした結婚式ができるなんて、まるで夢のよう。本当にありがとう」と笑顔を浮かべるご夫婦に、企画・運営を行ってきた学生たちも満面の笑顔で応えていました。

祝福の心を集めて形に



みんなでお祝い結婚式を企画した
松本大学観光ホスピタリティ学科3年
内川 葵さん（写真左）

私たちでも地域に貢献できることを実感。
今後は、自分が住む地域の活動にも積極的に参加したい!!

今回、大学が地域と連携・協働することで、地域がさらに盛り上がり、地域内の絆が深まる様子を目の当たりにしました。「結婚式、本当に感動して涙が出た」「こんな素敵なお話をしてくれてありがとう」と感謝の言葉を多くの方からいただき、無知で力の弱い私たち学生でも役に立つことができたことに喜びを感じました。今後は、まずは普段から自分の住んでいる地域のボランティア活動に積極的に参加するなど、自分の周りから絆を深めていこうと思っています。

成功の秘訣は、コーディネーターの熱意と尽力

今回、こうして地域初の交流祭りが成功した裏側には、協力を申し出た多くの団体と綿密な打ち合わせや調整を行い、地域住民への参加を積極的に呼びかけてきた地域づくりコーディネーター認定者である三戸呂さんの熱意と尽力がありました。参加者一人ひとりに感謝の言葉を笑顔で伝える三戸呂さんに、「この村、創立以来の賑やかさだった」「今日は本当に楽しい1日だった。ありがとう」と握手を求める人が続き、最後まで温かな雰囲気にも包まれた交流祭りとなりました。



みんなで一つのアートを作り上げました。

子供もお年寄りも笑顔になれる場所づくり



地域づくりコーディネーター 第1期認定者
宅幼老所 びすたりライフ
代表 三戸呂 三都子さん

学生の参加がきっかけとなり、初のイベントを開催。これをステップにして、さらに取り組みを続けていきます!!

今回学生さんたちの参加がきっかけとなり、地域交流イベントを初めて開催することができました。たくさんの方に参加いただき、楽しんでいただけて本当に良かったです。今回をステップにして、この「びすたりライフ」をさらに多くの地域の皆さんの「何でも気軽に話ができる場所」にしていきたいと思っています。高齢者の方や未就学児がいるお母さんたちを地域で見守る環境づくりを目指し、今後も取り組みを続けていきたいと思っています。

松本大学地域づくり コーディネーター 認定者とは？



地域づくりコーディネーター養成講座を受講し、プレゼンテーションおよび評価を経て基準を満たすことで、認定証が授与されます。養成講座では、私たちが地域社会や職場で働く上で必要な、多くの人々をつなぎ、みんなのつづきや想いを企画・運営しカタチにしていくコーディネーション力や、協働に不可欠なメンバー間の対等な関係を築き、関係者の潜在力を引き出し、みんなの声を聞き、合意形成を図るファシリテーション力が身につくことから、認定者には地域活性化のリーダー役としての期待と注目が集まっています。11月より第2期地域づくりコーディネーター養成講座を開講しました。

詳しくは、地域づくり考房『ゆめ』のホームページ

(http://www.matsumoto-u.ac.jp/matsumoto_u/yume/) をご覧ください。



お子さんにも大人気

学生プロジェクト「米粉PROJECT」は、チロルの森と塩尻市とが協働で開発した「こ～なつ」を販売しました。塩尻産の米粉を使用した、卵・乳製品を一切使っていない焼きドーナツで、「これをお目当てで来たの」という方もいました！小さいお子さんでも食べやすいので、試食をして親御さんにも買ってもらう姿が目立ちました。



「ゆずり葉」映画上映会

学生プロジェクト「Sign」による“もうひとつの美しい言葉・手話”で織り成す、幾つもの世代をつなぐハートフル・ストーリー「ゆずり葉」上映会がありました。来場者からは「こういう映画は初めてで、非常に印象深く、涙が止まりませんでした」「これ程涙した映画は初めてです」という感想が寄せられました。



聴覚障がい者の日常を体験

「33（ミミ）がわりプロジェクト」では、聴覚障がい者の情報ツールを体験できるコーナーを設置しました。音の流れない映像を見るなど、聴覚障がい者の方の日常がどういったものかを、クイズ形式等で体験していました。関心のある学生や子供たちが、食い入る様に映像を見ていたことが印象に残っています。



迫力の演奏

学生企画で「The Big Band of Music Toys」と「J@m」の方々による迫力の演奏が行われました。来場者が曲に合わせて手拍子している姿や、子供たちが真剣に聞き入っている姿もあり、感動的でした。ジャズを聞きながらジャズの歴史を学ぶ体験交流会もありました。来場者からは「初心者でも分かりやすい話で興味もてた」という声が聞こえました。



四季折々の風景で魅了

学生プロジェクト「ゆめ撮影隊」は、「復興！栄村写真展～取り戻そう、豊かな村～」を開催しました。元栄村立東部小学校長の宮下芳一さん撮影による、栄村の四季折々の風景を収めた写真を展示しました。ポストカードも販売し、収益は栄村に全額寄付します。写真を食い入るように見ている人が多かったのが印象的でした。



トマト嫌いでも飲める

栄村のトマトを使用したあま～いジュースを、学生プロジェクト「ええじゃん栄村」が販売しました。長野県北部地震によって全壊した栄村農産物直売所「かあちゃん家」再建費用として、売上げ金を全額寄付します！飲んだトマト嫌いの学生は「臭みがない！私でも飲める！」と感激していました。



体の芯まで響き渡る

地域交流和太鼓プロジェクト「松風連」による、和太鼓の演奏・体験がありました。天候が心配される中、開催することができ、来場者に楽しんでいただきました。体験コーナーでは、たくさんの方に実際に太鼓を叩いていただきました。体験者からは「お祭りみたいだね。体の芯まで響いてきました」と笑顔で話していただきました。

学生と地域の方・OB・OGと創る

梓乃森祭 ゆめひろば

10月22日(土) 23日(日)に行われた松本大学祭「梓乃森祭」で、学生と地域の方・OB・OGと創る交流広場「ゆめひろば」を開催。学生と地域の方が連携し地域を元気にしている活動を、販売や体験、展示等を通して紹介しました。各コーナーを来場者の声も交えて紹介します！



地域

食器がお手頃価格で

「松本市消費者の会波田支部」の方によるあまり手を触れる機会のない、不用食器をリサイクルした再生食器と、「木曾漆器工業協同組合」の方による職人が真心をこめて作った木曾漆器の、展示・販売がありました。100円からとお手頃な価格で販売していただき、好評でした。再生・製作などの話に来場者も聞き入っていました。



地域・OG

「第2コムハウス・ゆい」の方々による自作のカレー等の販売。



OG

「ベーカリー麦の穂」さんによる手づくり創作パンの販売。



「ええじゃん栄村」と復興支援商品を開発し販売した「信濃X」。



地域

3時間余りで完売！！

笑顔の絶えない素敵な「さわらびの会」の方々による、おにぎりやきびおこわ（今年初！）等の販売があり、3時間余りで完売するほど大人気でした。お休み処では、美味しいお茶や新村産のお漬けものを無料で提供していただきました。来場者からは「活気があってとてもいいね！」と褒められました。



地域

学生も野菜を吟味

「JA松本ハイランド新村女性部」の方々による新鮮野菜市では、地元産の安全安心な野菜等を販売しました。地域の方だけでなく学生も多く来て、野菜を吟味していました。購入した学生は「地域の方は、優しくて明るく、私も元気をもらいました」と話していました。



地域・OB

子供たちに大人気

「上高地線応援隊」の方々、卒業生メンバー所有の模型電車を走らせました。老若男女にかかわらず立ち止まり、電車を目で追っていました。子供向けイベントが少ない中、多くの子供たちが楽しそうに見ていました。来場者からは「地域は大学の、大学は地域の良いところを取り、良くなっていると思う」と褒められました。



ヘルシーメンバーが大量調理釜で作りました

塩尻産野菜・味噌使用！
250食完売!!
梓乃森祭に初登場！
栄養価バランスのとれた豚汁(ぶたじる)!!

私たちが作りました
学生プロジェクト
ヘルシーメニュー

代表 尾和さん

今回、大学祭2日目に手づくり豚汁を販売しました。素材は、塩尻産の野菜や味噌を使っているので、ローカルならではの味を味わっていただけました。塩尻の超ローカルな野菜と味噌もおいしいと感じていただけたと思います。

購入者

Tさん
シメジが大きくて、ごぼうもいっぱい入っていて具たくさんだった。辛いのが好きなので七味とかがあればうれしかった。

Kさん
文化祭にはいろんなものが出ていたが、野菜や汁物が食べられてよかった。さすがヘルシー。

Oさん
嫌いなシメジが食べられた。

塩尻産のにんじん

豚肉

シメジ

地元大豆で作った味噌

塩尻のおばちゃんが作った大根

今後の活動は、
12/3(土) 夕方に
「きらめきパーティー」
を開催します

塩尻市で男女共同参画を多くの方達に広げ、地域活性化を図ろうと活動している「きらめき教室」の方たちと、「きらめきパーティー」を開催します。地元産の野菜や味噌等を使い、おしゃれでヘルシーな料理を創作したり、食べながらクイズ形式の栄養講座をしたりと、みんなで楽しめるように工夫しています。今後は地域のつながりを広げていけるような活動をしていきたいです。

梓乃森祭と新村文化祭で発表したよ

笑顔写真館



2位

笑顔になってもらうために

このページに掲載されている写真は、笑顔写真館を作ろう！という活動の中で撮った写真です。震災後、暗い話題が多い今の日本に暮らしている人々に笑顔になってもらうためにこの活動をしたと思いました。また、写真を撮りながら様々な人と交流をしていく中で自分自身も笑顔になれるようにするためという思いもありました。

笑顔はしようと思っできるものではありません。笑顔は瞬間的に生まれるもので、撮ろうと思った時には、もう笑顔でなかったり、ということも多かったです。瞬間的な笑顔というのはよく見られましたが、**持続的に笑顔にさせるのはとても難しい**と感じました。誰かの笑顔を見て、別の人が笑顔になる。またその人の笑顔を見て別の誰かが笑顔になる。このつながり続けていけば社会は明るくなるのではないだろうか、と思います。今後も、時間が取れば写真を撮り続けたいと思います。

今回は私が撮った写真の中から特に好きな写真や気に入っている写真を選びました。この写真を見て笑顔になってもらえたら嬉しいです。

松商短期大学部1年 野村 琴美



3位



松大生さん来てみてよ

私 たち松大生は、長野県全域の方々からの呼びかけに応じて、地域に出掛けていきます。一度の参加だけで終わらずに、企画・運営を一緒に行ったり、卒業後まで続く活動もあります。

今回は、地域の子供たちと関わる2つの活動を運営する山田さんとそこに参加した学生に、インタビューしました。



■山田 勇さん
持続可能な松本平創造カンパニー
わおん♪代表
冒険遊び場を塩尻につくろう会
スタッフ

生まれ育った街が、ちょっとでも良くなるきっかけになればいいなと活動しています。学生は子供と年齢が近い分、かなり人気です。とても楽しそうに接してくれるので、すごく良いなと思いました。だんだん慣れてきたら、学生だからできること、その人自身だからできることを、スタッフとして提案してもらえればと思います。

子供たちの自然を通じた学びの場

持続可能な松本平創造カンパニー わおん♪

これまでの活動では、毎回子供たちと一緒に、自然の中で遊んだりしていますね。子供たちに自然の中で遊ぶ楽しさを知ってもらい、その中で、子供たちに成長してほしいという思いを持ちながら活動しています。活動の中で、大人のスタッフの方々は事前に危険を察知して行動していたけれど、私はなかなか出来なくて大変でした。先のことを考え行動することが大切だなと思いました。

活動していて一番良かったことは、年代の違う人たちと関わられた

ことです。子供たちだけではなく、大人のスタッフの方々とミーティングやメール、電話をし、その対応を見て、とても勉強になりました。それが活動をしていて一番自分の成長につながったと思います。

今後は、子供たちに自然体験をしてほしいと思う人が増えれば良いと思います。また、長いキャンプや夏休みには子供が多く参加するし、できることの幅も広がるので、たくさんの人にスタッフになってほしいです。

観光ホスピタリティ学科2年 丸山 麗



子供たちの創造力を育む

冒険遊び場(プレーパーク)を塩尻につくろう会

プレーパークでは、一日中子供たちと一緒に遊んでいます。プレーパークが、子供たちの居場所や、遊び場になれば良いなと思います。これまでの活動で、ベゴマやリアカーなどを使って、自由に子供たちが遊んでいるということを感じました。その他に感じたのは、一人一人にあった接し方を考えることの大変さでした。幅広い年代の子供がいるので、均等に接するのが難しかったのですが、できるだけ「みんなで〇〇をしよう」と言うようにして、大勢で楽しめそうな遊びに誘い、均等に接することができるように心掛けました。

これからはもっとプレーパークの認知度を高めて、子供たちの元気と明るさを、地域も明るくなるようにしていければ良いなと思います。親子でも参加出来ますし、思い出作りにもなります。一度の参加でも良いので、ぜひ来てほしいですね。

松商短期大学部1年 石井 里枝



遊びの中にも学びがあり、楽しく個性を伸ばす

山小あそびの広場

スイーツコースのジャム
とクラッカーづくりスポーツコースの
フットサル教室

10月29日に山形小学校にて、山小あそびの広場が開催されました。この企画は、PTAの方から依頼を受け、松本大学の学生や卒業生がPTAの方と協働で進めてきました。

当日は、28名の学生と卒業生や地域の方が1～6年の児童183名を対象に、「学習の中にも遊び心があり、子供達が楽しい時間を過ごす」「個性を伸ばす」「幾つかの体験コースを設定し、個性に応じてコースを選べる」ことを考えて、企画しました。スポーツ、科学、IT、スイーツ、芸術、工芸の6つの体験コースを、地域づくり考房『ゆめ』の学生プロジェクトやサークル他が担当しました。

～山小あそびの広場をコーディネートして～

当日までの準備で、協働で企画をすることの大変さ、子供達に合った遊びを考えることの難しさ、ハプニングの対処方法などを学びました。PTAの方と意思疎通がうまく出来なくて大変なこともありましたが、学生・卒業生・先生そして、PTAの方など多くの方に協力していただきました。開催することができ、本当に良かったです。参加して下さった皆さま、ありがとうございました。

観光ホスピタリティ学科4年 佐藤 志帆

～子どもたちの世界がうまく合わさって～

私は、芸術コースで子供達と絵を描きました。子供達は、大きな模造紙に勢いよく、好きなキャラクターや想像した生き物を描いていました。とても感性豊かで、私が描いた絵にも色を塗ってくれました。それぞれの子供の世界がうまく合わさり、明るくていきいきした絵でした。最終的には、一人一人オリジナルのキャラクターを描きました。

久しぶりに子供達と楽しく遊び、本当によかったです！子供達にとっても、思い出に残るものになっていれらうれしいです。

観光ホスピタリティ学科2年 和田 明日香

注文
受付中
!!栄村復興支援
さかえむらトマトジュース
& 栄村ふるさと便

さかえむらトマトジュース

栄村で1軒のみの加工用トマト農園で収穫され、収穫量が少ないため、生産数の限られた貴重なトマトを使用しています。特にリコピン残量が多く、甘みが優れているのが特徴です。料理用としてはもちろん、そのままおいしく飲めます。飲み頃は12月以降です。

- ・1本120円・4本450円
- ・1ケース(30本入り)3,000円

大学に取りに来ていただくか、お届けをご希望の場合は送料をご負担いただきます。

お問い合わせ：松本大学地域づくり考房『ゆめ』

ええじゃん栄村係

学生プロジェクト「ええじゃん栄村」では、震災で被害を受けた栄村の復興支援として「さかえむらトマトジュース」を販売し、収益は栄村農産物直売所「かあちゃん家」再建の資金として、全額寄付します。また、「栄村ふるさと便」の販売支援も行っています。

皆様のご協力よろしくお願いたします。

栄村ふるさと便

年間1万円で、栄村で丹精込めて作られた山菜や野菜などを、年3回地域直送でお届けします。(春便お届け時に振替用紙を同封します。)

春便：山菜(コシアブラ・筍・タラの芽など)・雪萌え山菜(雪であぐを取れた、太いウドやとても柔らかいワラビなど)

夏便：夏野菜(トマト・なす・ズッキーニなど)

秋～冬便：きのこ・新米・もち

お問い合わせ・販売先：かあちゃん家(阿部)

TEL：0269-87-2045まで。

つぶやき

秋へと季節も移り変わり、日に日に寒さが増してきているのを肌で感じられるようになってきました。そろそろ炬燵が恋しくなる季節でもありますが、日々の気温の変化には十分に気を付けたいです。

さて、10月22日、23日の2日間にわたって、第45回梓乃森文化祭が行われました。一年生にとっては初めての文化祭でしたが、ゼミごとの模擬店や各種イベント等あり楽しかったです。初日から天気が悪く、一時はどうなるかと思いましたが、雨が止んでよかったです。ですが、準備の際に全身濡れたせいなのか、軽度の風邪をひいてしまい、ある意味思い出になり、来年への教訓にもなりました。

ゆめ通信編集委員(松商短期大学部1年) 原 彩子

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

松本大学 7号館 2F

TEL: 0263-48-7213 (直通)

FAX: 0263-48-7216 (直通)

E-mail: community@matsu.ac.jp

※開館日時：月～金 9:30～18:30